

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第50号 2024.12.9 発行

2024年も無事終了 お疲れさまでした

森のあそび場のジャングルジムから始まった今年も、大きなけがをする人もなく無事に一年を過ごすことができました。週末縄文人の会も5年が経過し、みな同様に5年の年月を重ねてくると、体力の衰えを感じるとともに、平衡感覚が鈍ってきたり、高いところに登るのも躊躇するようになってきました。いつまでも5年前と同じように動けないことを自覚しながら、『これから、何ができるか?』と、冬休みの期間中に来年度の活動を新たに考えなおしてみたいと思っています。

❖ 2024年トピックス



3号棟を解体したところ、柱の中からクワガタの成虫と幼虫が出現。幼虫君たちが餌にして3号棟の柱を傾かせていたとは想像できませんでした。

オオムラサキセンターから棚田を越えた先の森に造られた森のあそび場の中に縄文住居建設で培ったノウハウを活かしたジャングルジムが完成しました。子供たちの評判もなかなか良く、遊び始めるとなかなか帰りたがらないようです。



第2回うめのきウキウキフェスティバルにワークショップとして参加しました。他の活動イベントに参加させてもらうのは初めての経験でしたが、多くの子供たちに楽しんでもらえたのではないかと思います。梅之木史跡公園は、文化財としての重要性もありますが子どもたちが走り回る姿は今後の公園のあるべき姿を見たような気がしました。

❖ 年末お疲れ様忘年会

今年の忘年会は、茅ヶ岳歴史文化研究所から篠原常勤理事と前田理事にも参加いただいて一年を締める意味でも良い忘年会となりました。最初は大根だけ？のおでんだった予定が、茅文さんからの差し入れがあると聞いたとたんに練り物入りの普通のおでんに格上げされ、この対応力・適応力の高さが我々の持ち味かもしれません。明野で栽培されたブドウで造られたワインは『飲んだもん勝ち！』

と言いながら奥様達が味わっていました。

（写真は割愛）お味の方はいかがでしたか？

白州のシャルマンワインで販売されているとのこと。試飲を自重された方々は、ぜひ手に入れて味わってみてください。

お土産に明野の浅尾大根もいただき

来年のフェスティバルまでは我々の会も解散できなくなってしまう（涙）



❖ 3号棟現状

解体直前の状況に比べると、垂木にはできるだけまっすぐな材料を用意し、屋根の傾斜角が緩やかになったことが分かります。全体的に建物が低くなった感じはしますが、すそ野が広がってきれいな形状になり、中に入ると広がった感じがします。5年前には何もわからず始めた3号棟でしたが、3棟の建設を経験したことで週末縄文人も知恵を絞ってきます。縄文人も数年ごとに建て替えていたことを考えれば、移動したり、建て替えたりする度に改良を加えていったのではないかと容易に想像することができます。

解体作業直前



12/7現在



❖ 来年も3月中旬から作業を開始する予定です。皆さん、ご家族でよい年をお迎えください！